

EJ-Debug

for H8/3048F-ONE



- ルネサスエレクトロニクス製H8/3048F-ONEをサポート
- CPUの最高動作周波数に対応
- ハードウェアブレークポイント2点
- 無制限のソフトウェアブレークポイント(RAMエリア)**
- 内蔵フラッシュメモリへのダウンロード機能**
- 内蔵ペリフェラルの参照/変更機能**
- USBバス/パワーで動作
- C/C++言語対応 高級言語デバッガWATCHPOINTを標準添付 (Windows98/Me/2000/XP)
- 各種PC※、ノートPCなどのホストマシンで動作 (USB接続)

※一部のPCにおいて動作チェックの必要がありますので事前に確認のほど
お願いいたします。

主な仕様

対象CPU	H8/3048F-ONE (Mode5~7に対応) オンチップデバッグ内蔵CPU
接続方法	20ピン MIL準拠コネクタ(2.54mmピッチ)
CPUクロック	CPUの最高動作周波数に対応
ターゲット電源	2.7~5V 出力信号電圧はターゲットに従う
メモリ空間I/O空間	全ての領域がユーザに解放されています。(一部エミュレータが占有)
割り込み	全ての割り込みがユーザに解放されています。
ブレーク	以下の条件を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアブレーク(実行後ブレーク2点) 命令実行アドレス指定、メモリアクセス等指定、データ指定可能 ・ソフトウェアブレーク(RAMエリアのみ) 無制限設定可能 ・強制ブレーク可
フラッシュメモリ ダウンロード機能	ターゲットシステム上のフラッシュメモリに対して、デバッガからプログラムを直接ダウンロード できます。

システム構成

EJ-Debugは今までにないまったく新しい形態のエミュレーターです。ホストに直接つなげるだけで、マイコン応用機器のソフトウェアを開発することができます。

ハードウェア構成

ハードウェアは、CPU専用*のEJ-DebugをUSBを介してホストにつなげるだけで開発システムを構築することができます。

* EJ-Debug for H8/3048F-ONE ICEシステムは、H8/3048F-ONE 専用に開発された製品ですので、他のCPUのソフトウェア開発に使用することは、できません。

ソフトウェア構成

C/C++高級言語デバッガ「WATCHPOINT」をプローブセットに標準添付しております。

メディア:

CD-ROM

サポート言語/RTOS:

高級言語デバッガ「WATCHPOINT」で高級言語デバッグを行うためには、デバッグ対象のプログラムとそのプログラムのデバッグ情報を必要とします。最適なデバッグ情報を出力するCコンパイラまたはアセンブラには下記の言語があります。

サポート言語:

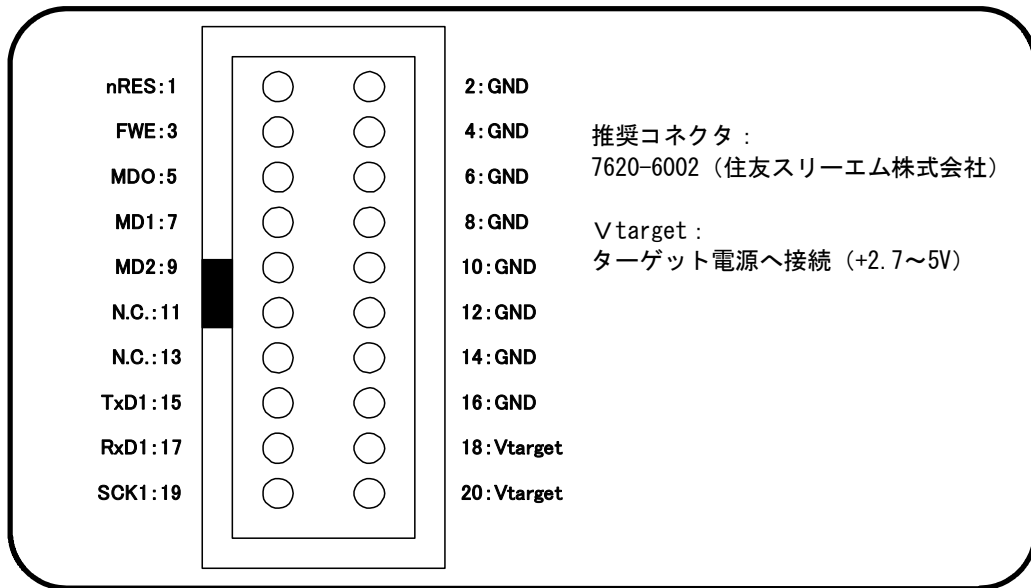
- ・ルネサス H8S、H8/300シリーズC/C++コンパイラ・アセンブラ
- ・IAR ICC H8/300

サポートRTOS:

- ・NORTi3,4
- ・Hi8-3H

※サポートコンパイラ・Ver等は、変更がある場合があるので、お問合せください。
※サポートOSは、サポート言語のVerによって、対応状況が変わる場合がありますので、お問合せください。

ターゲット接続



ターゲットシステムのコネクタピン配置 (上面視図)

セレクション・ガイド

ホストPC	PCとの接続	EJ-Debug
DOS/V機およびNOTE PC (IBM PC/ATおよび互換機)	USB接続	EJD4200G EJD H8/3048F-one-G

* ホストマシン環境、OS: Windows98/Me/2000/XP、メモリ: Min 32MB以上・推奨64MB以上、HD容量: インストール時20MB必要
* 各製品は、各社の商標または登録商標です。製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

(MKT-06ARI22)

価格はお問い合わせください

お問い合わせは最寄りの営業所へ

●DA営業部 本社 (044)989-7253 ●大阪営業所 (06)4805-8505(代)